



木下小だより「あすなろ」

令和4年
9月27日号
(第8号)
印西市立木下小学校
児童数 231名

2学期が始まってから約1ヶ月。残暑を厳しく感じていたのもつかの間、日が落ちるのが日ごと早くなり、丘の上を渡る風からは秋の匂いを感じるようになりました。子どもたちは運動会に向けて毎日練習を積み重ねています。練習に取り組む子どもたちの目は輝き、運動会を楽しみにしている様子が伝わってきます。明日は予行演習です。運動会当日に全力を出し切ることができるよう、ラストスパートです。保護者の皆様には、体調管理、毎日の水筒の用意や体操服の洗濯等、ご協力感謝申し上げます。子どもたちが運動会終了後、達成感や充実感を感じることができるよう職員一同支援してまいります。後3日、よろしくお願いいたします。



運動会でつきたい力



さて、1年間を通して学校では様々な行事を計画的に行っています。この学校行事は学習指導要領で定められている教育活動の一つで、それぞれの行事に目的があり、行事を通して平常の教科学習等とは違った別の側面からも力を養っていきます。

運動会でつきたい力は様々ありますが、本校では次のように考えています。

- ① 思いやりの心 ……友達と力や気持ちを合わせて競技したり応援したり励まし合ったりする。互いの良さを認め合う。等
- ② 困難を乗り越える力 ……くじけそうになっても、途中苦しくなっても、負けそうになっても、最後まであきらめず取り組む。努力することの大切さを知る。等
- ③ 集団で活動する良さに気づき、みんなで協力してより良い行事にしようとする心



……学級、学年、学校の中で、誰もがかけがえのない存在であることを感じ、この学級で良かった、木下小で良かった、みんなのために役立ちたいという気持ちを持ち、協力し合ったり自分の責任を果たしたりしようとする。等

子どもたちは一人ひとりめあてを持って運動会に参加します。子どもの思いをよく聞き取って当日の朝送り出してください。そして運動会が終わり家に帰ったら、子どもの話をよく聞いてあげてください。楽しかったこと、嬉しかったこと、くやしかったこと等々、子どもの心の動きを一緒に振り返ることで子どもは自分自身を確認し、達成感を自信へと高め、次への活力とすることができます。

学校行事は通常の学習よりも明確なめあてを持ちやすく、楽しみもあり達成感も得られやすい活動です。きっと運動会を通して、また一歩たくましく成長したお子様の姿を発見できることと思います。

(校長 小林 すみ子)